

# 祈りの土鈴プロジェクト ～詫間生の思いをカタチに～

令和6年度能登半島地震で被災された方へ支援をしたいとの思いを込めて、本校美術科で、3月に2、3年生の授業で陶芸作品「祈りの土鈴」を制作しました。

5月18日（土）に白川先生が、能登町教育委員会へ届けました。170個の土鈴が能登町教育委員会を通じて町内の小・中学校へ寄贈されました。7月11日（木）に能登町教育委員会の方からうれしいメールと写真が届いたので、紹介します。

この度は大変お世話になっています。

できるだけたくさんの方の方に触れていただきたく、まずは町内の15の公民館に展示させていただきました。大変好評で、皆さん手に取って音を鳴らしていたと聞いております。その後、町内の4つの中学校に展示しました。土鈴に初めて触れる生徒がほとんどでしたので、たいへん興味深く、また、詫間中学校の皆さんの温かい気持ちも感じ、大切に展示しています。7月いっぱい飾らせていただき、その後、希望の生徒には持ち帰ってもらうことにしました。

詫間中学校の生徒の皆さん、ひとつひとつがとてもユニークで、かわいい土鈴とメッセージ、ありがとうございました。とても勇気づけられました。私たちのために時間をかけ、気持ちを込めて作っていただき、ありがとうございました！！

災害から半年たちましたが、まだまだ復興には時間がかかりそうです。ゆっくり頑張っていきます。

皆様もどうぞ体に気をつけて、共に進んでいきましょう  
ありがとうございました。

